

令和7年12月 鴻巣市議会定例会一般質問

質問日 令和7年12月12日（金）

質問順位1 中西 耕二郎 (一括質問・一括答弁式)

1 教育行政

- (1) 不登校対策について
 - ア 不登校の現状と対策は
 - イ 教育支援センター、LET'S教室（適応指導教室）、校内教育支援センター（With）について
 - ウ 分かりやすい周知・情報発信について
 - エ 子どもの意見・声を聞く工夫について
 - オ メタバース空間を活用した不登校児童生徒等支援事業について
- (2) 外国人の子どもの不就学について
 - ア 現状と対策は

2 こども未来行政

- (1) 子どもの養育費確保について
 - ア 周知・啓発について
 - イ 相談体制について
 - ウ 子どもの養育費確保支援について

質問順位2 高橋 亜紀 (一問一答式)

1 誰もが動けるまちの実現

- (1) シニアカー利用と外出環境の整備
 - ア シニアカーの法的な位置づけに対する本市の認識は
 - イ 公共施設・民間施設における置き場、案内表示、動線の現状をどう把握しているか
- (2) 外出支援と環境整備
 - ア 外出機会の減少が健康・介護予防に与える影響をどう捉えているか
 - イ 市内で安心してシニアカーを利用できる環境整備を、今後どのように進めれる考えか

2 学校給食の未来

- (1) 国の学校給食費無償化を見据えた準備と課題
 - ア 本市の学校給食に係る年間総費用と主な内訳は

- イ 物価高騰や人件費上昇による運営コストの変化をどう捉えているか
 - ウ 国の学校給食費無償化の方向性を踏まえ、本市としてどのような整理・準備が必要か
- (2) 質と安全性の維持
- ア 栄養価や献立の質を保つまでの課題は何か
 - イ 学校給食費無償化後も栄養価や献立の質を維持するため、現時点で必要な対応・工夫をどう考えているか
- (3) 学校に来られない児童生徒への食支援
- ア 不登校児童生徒への「給食が届かない」現状をどう課題認識しているか
 - イ 教育支援センター等との連携を含め、「食の空白」への今後の向き合い方はどうか

3 公共施設の強靭化と発注制度のあり方

- (1) 防災に強いまちづくりに向けた公共施設整備と発注制度
- ア 本市公共施設の老朽化の現状と、維持管理・更新の考え方は
 - イ 「災害時の工事実施体制の確保」をどのように位置づけているか
- (2) 地域を支える建設業と防災体制
- ア 災害時の初動対応における建設業の役割をどう認識しているか
 - イ 地域精通度や協定等を踏まえ、災害時の工事体制をどう確保していくか
- (3) 発注制度と総合評価方式
- ア 本市の主な工事発注方式と使い分けの現状は
 - イ 総合評価方式の現行整理と役割認識は
 - ウ 公共施設の質向上や防災力強化に向け、発注制度の改善を今後どのように進めるか

質問順位3 羽鳥 健 (一括質問・一括答弁式)

1 市民生活行政

- (1) 防犯対策について
- ア 本市の現状
 - イ 各家庭への啓発と対策
 - ウ 本市としての今後の対策

2 環境経済行政

- (1) コウノトリの本市においての意義について
- ア 本市においての位置付け
 - イ 本市においての活用
 - ウ これからの展開
- (2) 本市における農業振興と展開について
- ア 本市における農業のより一層の振興は

- イ 経営縮小する農家への対策は
- ウ 来年度予算への計上と注目すべき事業は

3 危機管理行政

- (1) 災害・防災対策について
 - ア 防災備蓄品の管理は
 - イ これから災害想定と新たな備蓄品の整備は

質問順位4 西尾 綾子 (一問一答式)

1 上下水道行政

- (1) 吹上地域において水道水中に「浮遊物」が確認された件について
 - ア 11月19日の「浮遊物」確認の状況と第1報までの経緯は
 - イ 「浮遊物」確認から11月20日の「安全であることが確認」までの作業内容は
 - ウ 市民への周知方法は適切であったのか
 - エ 給水対応について
 - オ 「浮遊物」の詳細と水道水に混入した原因および経緯は
 - カ 市長から吹上地域の市民への説明は
 - キ 市民の健康被害の恐れも想定した今後の危機対応への課題は
- (2) 9月定例会の答弁を踏まえ、吹上第一浄水場・吹上第二浄水場にろ過機が設置されていない件について改めて問う
 - ア ろ過機がない浄水場は深井戸の劣化に対応できるのか
 - イ ろ過機がない浄水場は深井戸からの水の安全性を担保できるのか
 - ウ 今後も深井戸からの取水を続けるのか

2 市民生活行政

- (1) 市と地域の任意団体との適切な関係について
 - ア 吹上地域の任意団体の会議への市職員の出席について
 - (ア) 職務命令について
 - (イ) 任意団体の事務を市職員が担うことについて
 - (ウ) 地域の任意団体と市の適切な関係はどうあるべきと捉えているか

3 教育行政

- (1) 吹上北中学校への自転車通学について
 - ア 長距離歩通学をしている生徒の現状をどう捉えているか
 - イ 「子どもの声が届くまちこうのす」として、自転車通学を希望する生徒の声にどう応えるのか

4 総務行政

- (1) 週19時間以上20時間未満の勤務時間で任用されている職員について
ア 2025年4月時点では埼玉県内自治体で唯一3桁の155人と突出していることをどう捉えているか
イ 週20時間でなく週19時間以上20時間未満に設定している理由は
ウ このうち共済組合への加入数は
エ 会計年度任用職員などの処遇改善について、人権の観点からどう考えているか
- (2) 子の看護等休暇の改善について
ア 現状と今後に向けた考えは

質問順位5 織田 京子 (一問一答式)

1 終活前における自治体支援サービスについて

(1) 生前契約について

- ア 両親が亡くなり、身寄りがなく子が1人になってしまった時の為に、葬儀の手配、家の売買、資産の処理等について、親が生前契約を市とすることについて

2 うんどう教室について

(1) 木製の遊具を設置して26年経ち、現在は鉄製の遊具に変えるために、取り外されて2年経つが新しい遊具は設置されていない。今後の予定について

- ア 現在は、指導員が公園にあるベンチや鉄棒を使って指導していることは
イ 遊具が少ないために利用者の人数が減っている。健康維持の観点から遊具が付くまでの対応策は

(2) 木製から鉄製に変えた理由について

3 クラウドファンディングの利活用について

(1) クラウドファンディングは、2014年に金融商品取引法が改正され、地方自治体でもこの仕組みを活用し、まちの整備に役立てる動きがあるが、本市の考えは